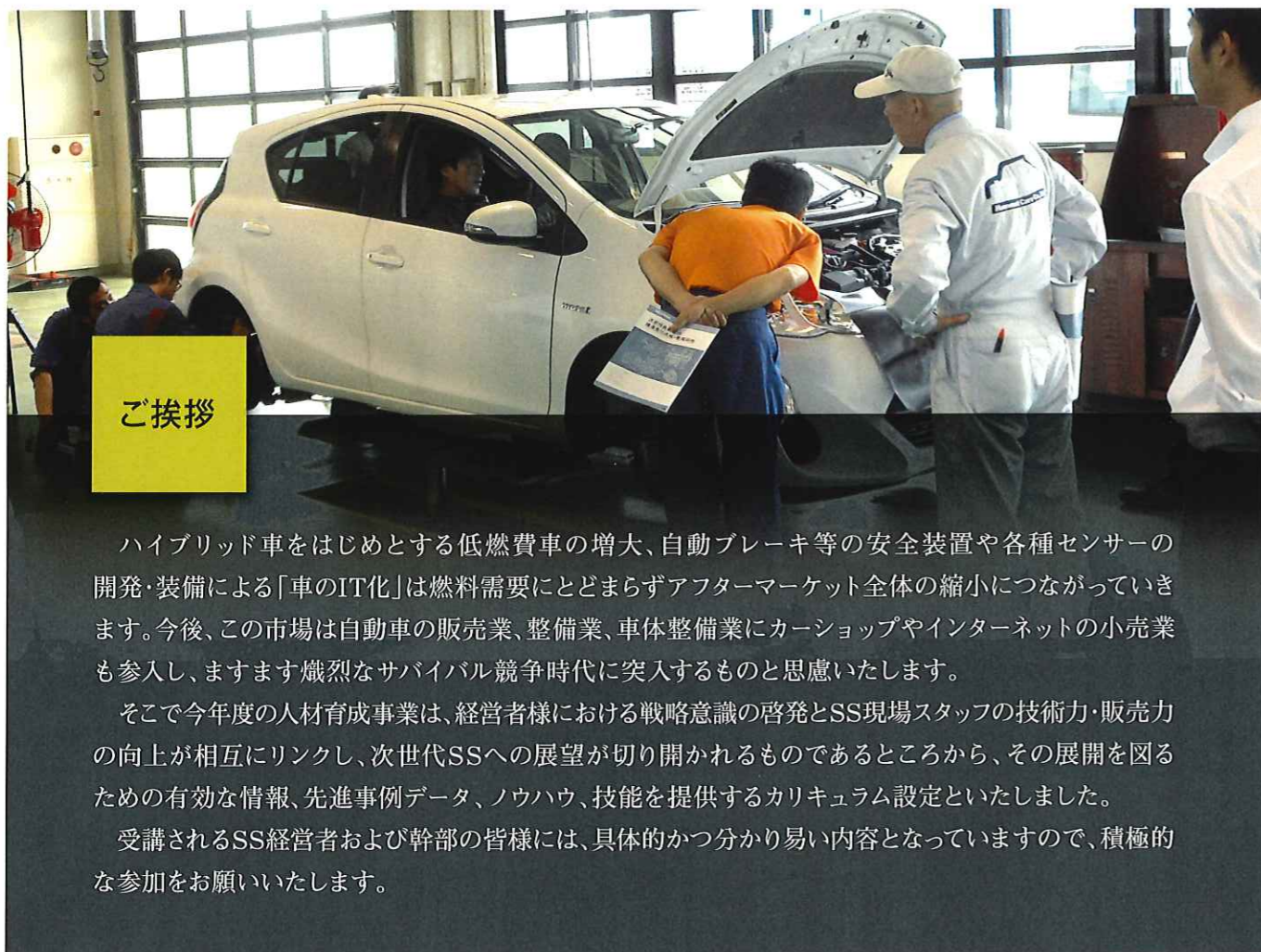


# 新・点検整備研修とスキャンツール活用研修

総合生活サービス拠点への転換支援研修会



ご挨拶

ハイブリッド車をはじめとする低燃費車の増大、自動ブレーキ等の安全装置や各種センサーの開発・装備による「車のIT化」は燃料需要にとどまらずアフターマーケット全体の縮小につながっていきます。今後、この市場は自動車の販売業、整備業、車体整備業にカーショップやインターネットの小売業も参入し、ますます熾烈なサバイバル競争時代に突入するものと思慮いたします。

そこで今年度の人材育成事業は、経営者様における戦略意識の啓発とSS現場スタッフの技術力・販売力の向上が相互にリンクし、次世代SSへの展望が切り開かれるものであるところから、その展開を図るための有効な情報、先進事例データ、ノウハウ、技能を提供するカリキュラム設定といたしました。

受講されるSS経営者および幹部の皆様には、具体的かつ分かり易い内容となっていますので、積極的な参加をお願いいたします。

開催日時  
会場

9/4(月)・5(火)

両日とも開始9:30—終了16:30

福岡県自動車整備振興会

TEL.092-641-3171

〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ棟6丁目7番16号

募集対象

石油製品販売業者の従業員の皆様で低圧電気取扱特別研修受講済みの方  
または、同等の知識を習得済みの方

受講費用

無料(テキスト・教材費含む)

※当研修は資源エネルギー庁の平成29年度「次世代石油製品販売業人材育成事業」の補助金をもとに運営しております。  
※交通費は各自負担ください。

受講申込

裏面の申込欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。  
(電話での受付は不可)

募集定員

30名 募集定員を超える場合は調整させていただきますのでご了承ください。  
調整の結果は後日、連絡責任者へ通知させていただきます。

## 研修の背景

従来から安全運転のためのシステムとしてABS、TRC(トラクションコントロール:スリップ防止)VSC(ビークルスタビリティコントロール:横滑り防止)等が装備されていました。

高齢ドライバーによる事故防止のための安全運転装置(衝突回避支援システム、車線逸脱防止支援システムなど)が標準装備化されてきています。

これらの装置は現在採用されている電子制御ブレーキシステムの上に成り立っています。

SSにおいて車の機能である「走る」「曲がる」「止まる」を確実に発揮させる点検・アドバイスのためにこれらの知識及び点検整備方法の習得は不可欠です。



## 研修の目的

今後更に増加するプリウスZVW50系の点検整備の知識・技術を学び、プリウスZVW50系の来店に際し、積極的にアプローチを行うことにより技術的信頼を

獲得し、油外収益向上を図ることを目的とします。また、日産NOTE電動パワートレインe-powerの概要についても学びます。

## 研修の内容

### 1日目

- 次世代自動車の技術進歩とSSの役割
- ハイブリッドシステムの種類と該当する車種
- プリウスZVW50系総論
- ハイブリッドシステム
- HVバッテリー、補機バッテリーの概要
- エンジンクーリングシステム
- HVバッテリークーリングシステム

### 【実習車両 プリウス50系】

- ハイブリッドシステム構成部品取付位置確認
- HVバッテリークーリング冷風フィルターの脱着清掃実習
- 下廻り取付部品確認実習
- ブレーキフルード交換作業実習
- インバーター冷却液交換作業実習
- 確認テスト/アンケート

### 2日目

- 日産NOTE電動パワートレインe-powerの概要
- スキャンツールによる診断
  - ① 電子制御システムの仕組み概要
  - スキャンツールの6つの機能
  - ② 故障検出の仕組み
- スキャンツール実習の為の説明
  - ① EGRシステムの仕組み
  - ② 吸気温センサーの仕組み
  - ③ コンピューター診断表の内容説明

### 【スキャンツール活用実習】

- 全自己診断DTC読み取り及び消去の操作確認実習
- ブレーキフルード交換&エア抜き作業実施時の操作実習
- エンジン冷却液&ハイブリッドシステム冷却液のエア抜き作業実施時(整備モード)の操作実習
- 車の健康診断:実習ワークシートの記入
- 確認テスト/アンケート